

神戸市職員 採用ガイド



神戸市職員採用ホームページ

市政・仕事紹介、プロジェクト紹介、
ワークスタイル、試験内容などを掲載しています。



神戸市職員採用X

@kobe_saiyou



LINE



試験や説明会など、神戸市職員採用に関する情報をお知らせしています。

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館22階

TEL: **0570-083330** (または **078-333-3330**) FAX: **078-333-3314** メールフォーム: 

神戸市お問い合わせセンター(年中無休 8時~21時)

リサイクル適性®
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2026年2月発行

海、山、街。
神戸の全部が、
仕事になる。

MESSAGE

海、山、街。 神戸の全部が、 仕事になる。

日本に新しい文化を運んできた神戸の海。
日々の生活を豊かにする神戸の山。
多様な文化が共存する神戸の街。

神戸の全部が、私たちの仕事です。
あなたが輝ける舞台が、この街にはたくさんある。
社会人の一歩目を、この神戸で一緒に踏み出しませんか。



神戸は日本を代表する大都市であり、市街地から至近の場所には六甲山や里山・農村地域が拡がり、穏やかな瀬戸内海に面するなど、豊かな自然環境にも恵まれたまちです。また、明治の開港以来、新しい気風や多彩な文化を取り入れながら、神戸独自のブランドを確立し、国際都市神戸として発展を遂げてきました。

そのような中、新型コロナウイルス感染症に伴う危機を乗り越えた一方で、従前から存在していた少子高齢化や東京一極集中などの課題を踏まえ、より一層人口減少時代に対応した政策を展開することが求められています。

神戸市では、人口減少幅を抑制する取り組みとして、若年世代にとって魅力的なまちであり続けるよう、切れ目ない子育て支援をはじめ、スタートアップ施策や企業誘致といった魅力的な産業創出、郊外拠点駅周辺のリノベーションなどによる暮らしの質の向上、都心三宮・ウォーターフロント再整備など非日常のわくわくするような都市空間形成といった施策を強力に推進しています。

また、神戸空港の国際化を契機に、神戸は新たな国際都市としての可能性を手にすることができました。神戸空港島の将来構想の策定や空港ターミナル機能の強化に取り組むなど確かな成長へと歩みを進めていきます。

社会情勢が大きく変化していく中で、今、行政に求められていることは、進化するテクノロジーを取り入れながら、市民の声を敏感に受け止め、練り上げた政策を適切かつ迅速に判断・実行し、分かりやすい情報発信を行っていくことです。そのために、やる気と可能性に満ち溢れた皆さんの新しい力を必要としています。

神戸には、皆さんの活躍のフィールドが広がっています。神戸のまちを、そして神戸の未来を、共に創っていきましょう。

神戸市長
久元 喜造



PROJECT

主要プロジェクト



#1

バランスの取れた まちづくり

Q. バランスの取れたまちづくりとは？

人口減少時代においても、ずっと住み続けたいまちづくりを目指し、都心・三宮再整備や郊外の拠点駅のリノベーションなど、魅力的なまちづくりを進めています。

A. 三宮クロススクエアの整備

都心・三宮再整備では、海と山に囲まれ、駅とまちが近いという立地条件を活かした「美しき港町・神戸の玄関口」をコンセプトとして掲げ、広く豊かな屋外空間を沿道建築物と一体となって整備することで駅から周辺エリアへ回遊していただける「歩いて楽しい“人が主役”の居心地の良いまち」を創出していきます。

三宮周辺に分散する6つの鉄道駅やバスの乗降場などまちを繋ぐ空間を「えき〜まち空間」とし、三宮交差点を中心にフラワーロードと中央幹線の一部を人と公共交通優先の空間「三宮クロススクエア」として整備します（2029年度完成予定（東側・第1段階））。三宮駅前に居心地のよい空間をつくりだす、都心再整備の中核を担う重要なプロジェクトです。

A. 新バスターミナルI期ビル

西日本最大級となるバスターミナルの整備を進めており、I期ビルは2027年12月に完成予定で、バスターミナルの他にも、ホールや図書館、ホテル、オフィスなどをあわせた複合ビルになる予定です。2029年度に完成予定のJR三ノ宮新駅ビル等とをつなぐ歩行者デッキを整備することで、施設間をスムーズに行き来できます。

A. 郊外の拠点駅のリノベーション

「駅」は、地域のたたずまいや雰囲気を印象付ける「顔」となる大切な空間です。鉄道に沿ってまちが形成されている神戸のまちの特徴を活かし、駅を中心に、まち・くらしの質を高めるプロジェクト「郊外の駅周辺のリノベーション」を進めています。

駅前広場の再整備（一部、芝生化やライトアップなど）だけでなく、図書館やホール、商業施設のリニューアルなど、立ち寄りたくなる、時間を過ごしたくなる駅前空間を創出します。また、くらしの中で大切な「働く」にも着目し、郊外における職住近接のライフスタイルの実現を応援する「地域の働く場」の整備にも取り組んでいます。



INTERVIEW

職員インタビュー

三宮のまちを、
より使いやすく、より快適に。



都市局都心再整備本部
都心再整備部
都心三宮再整備課
令和2年度入庁（大学卒・土木）
（※令和6年度時点）

都心・三宮再整備では、JR三ノ宮新駅ビルや市役所2号館の建て替え、ウォーターフロントエリアの再開発など、さまざまな民間事業とも連携しながら公共空間の整備に取り組んでいます。海と山が近く魅力的なまちがモザイク状に広がる神戸の特徴を活かし、利便性と快適性を高め、歩いて楽しい“人が主役”の居心地の良いまちを実現します。

SCHEDULE



人々が笑顔で行き交う未来を思い描く。

JR三ノ宮駅からウォーターフロントへ南北に延びるフラワーロードの再整備事業を担当しています。この事業は、市役所2号館の建て替えやウォーターフロントの再開発などによって増加する人の往来をスムーズにし、より魅力的な公共空間とすることを目指しています。関係各所との調整は大変ですが、市民や来街者たちが笑顔で歩道を行き交う将来像に思いを馳せながら設計を進めるのが醍醐味。市民の期待を背負う大きなプロジェクトに計画段階から関わり、形になって長く残る仕事にやりがいを感じています。

憧れの神戸をもっと魅力的なまちにしたい。

学生時代から関心を寄せていた「都心・三宮再整備プロジェクト」に携わりたいと思い、神戸市への入庁を希望しました。生まれ育った姫路から大阪の大学に通っていたころは神戸が遊び場で、海と山が身近にあり、異国文化が香るおしゃれなまち並みに憧れていました。プロジェクトを円滑に進める上ではチームワークが大切。仲間と苦楽を分かち合いながら、魅力的なまちづくりに貢献していきたいです。





#2

SDGs貢献都市 神戸

Q. 海と山を未来につなぐには？

海と山、豊かな自然に囲まれたまち、神戸。先人たちの思いを受け継ぎ、新たな発想で挑み、グローバル社会に貢献します。

A. 生物多様性を守る

私たちは、多種多様な生きものに関わりながら、様々な自然の恵みを享受して生活しています。しかし、昨今、長い年月をかけて培われてきた自然の恵み、その基盤となる生物多様性が脅かされつつあります。そのため、神戸市では、生きものの宝庫である里山の保全・再生、外来生物の防除や「外来生物展示センター」における普及啓発、希少種の保全、子どもたちへの環境教育など、生物多様性を守り育てるための取り組みを進めています。



A. 森の未来都市 神戸

神戸市には、都心に近接した海と山、豊かな自然環境がありますが、現在、生活様式の変化や、担い手不足、自然環境の管理不全等により管理不全等により森林・里山の荒廃が進んでいます。持続可能な都市としての適切な資源循環や、地球温暖化抑制の志向が進む中、「森林・里山の再生」と「まちの緑化」、更には市民、企業、NPO、大学など様々な主体との協働を進めることで、豊かな自然を次世代へつなぎ、くらしの質を高めるとともに、「持続可能な都市」として市のブランド力を高めていく「森の未来都市神戸」という取り組みを進めています。



A. リン資源を下水から再生

下水から人間がし尿として排出したリンを回収した「こうべ再生リン」。そのリンを原料とした「こうべハーベスト肥料」で米や野菜を育て、再び食糧に戻るという資源循環の取り組みを推進。小学生にこの取組みの説明や育てた作物の収穫体験といった食育・環境教育も行なっています。肥料会社・大学・生産者・神戸市等によるコンソーシアムを設立。「こうべ再生リン」を配合した新たな肥料の開発と農産物の付加価値向上の実証試験に取り組みます。



INTERVIEW

職員インタビュー

人と自然が暮らす「里山」を 未来につなぐ

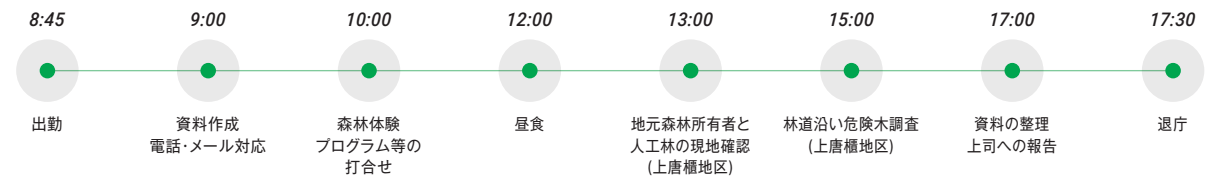


建設局
森林・防災部森林課

令和2年度入庁(大学卒・総合事務)
(令和7年度時点)

「森の未来都市神戸」の取り組みを推進するため、「森の未来都市神戸」推進本部を設置し、庁内の複数部署と調整をしながら、効率的かつ迅速に実行し、施策の目的や成果などを市民や企業等に分かりやすく発信しています。

SCHEDULE



森林・里山の再生を進めて、災害に強い街へ

所有者の高齢化などにより管理が行き届かなくなった広葉樹林では、育ち過ぎた大木が増えて、下層の植物が育たず日光が地表に届きません。その結果、新しい樹木が育たずに老木ばかりになり、特に六甲山は急斜面が多いので土砂災害など防災上のリスクが高まります。そうならないためにも地域の方々と一緒に森林の整備を進めていくのが私の仕事です。現地調査を踏まえて整備対象エリアを確定させ、どのような方針で伐採していくのか、同じ部署の上司、同僚にも相談しながら決めていきます。



森林施策の難しさ

木の伐採など、事業を実施するには所有者の了解をとる必要があり、多いところでは50人以上の所有者と調整を行います。そもそも所有者が誰なのかを確認するだけで半年以上かかることもあります。それだけ複雑な状態だからこそ行政として森林の環境を整えていくことが必要だと思います。一方で、年間5回ほどの森に親しんでもらうイベントの企画や運営をする委託業務も担当しています。また、私の所属する森林課では小学生から大学生までを対象に森林関連の事業を説明して質問を受ける「出前授業」も行っており、神戸の森林の未来を次世代に繋げていく役割も担っているのだと実感しています。





#3

もっと子育て しやすい街へ

Q. 神戸がもっと子育てしやすい街になるには？

神戸市では、妊娠・出産期から学齢期までライフステージに応じた切れ目のない支援を充実・提供し、誰もが安心して子どもを産み育てる街の実現を目指しています。
子育て中の方はもとより、子育てをしていない方も含め、「みんなで子どもと子育てを応援する街へ」との思いを込めて、「こどもっとKOBÉ」のロゴマークを作成し、統一感のある親しみやすい広報展開にも取り組んでいます。

A. 出産前から赤ちゃんのご家庭をしっかりサポート

生まれてくる赤ちゃんとお母さんの健康を守るために、経済的な負担を心配することなく妊婦健康診査を受けていただくために12万円まで助成しています。妊産婦の外出・移動を支援するタクシー利用助成や、産前産後の家事や育児の支援・助言をしてくれるヘルパー派遣も実施しています。
さらに、助産師による訪問や助産所等での宿泊・通所サービス「産後ケア事業」では、お母さんに産後の心身を休めていただきながら授乳や沐浴など赤ちゃんのお世話を助産師などの専門家に相談することができます。



Photo by Aya Morioka ©2022 Ouchi Studio KOBE

A. 働くことと子育てを両立できる環境づくり

共働き世帯が増えるなど保育ニーズの高まりを受け、神戸市では、保育施設の整備や保育人材の確保などに取り組み、5年間で約4,000人の保育定員の拡大を行うことで2年連続「待機児童ゼロ」を達成しています。また、小学生が利用する学童保育についても整備を進め、希望する対象者を全員受け入れ、待機はありません。
さらに、子ども連れで利用できるコワーキングスペース「あすてっぷコワーキング」では、無料の一時保育やキッズスペース、個室型ワークブースをご利用いただけるほか、スキルアップセミナーやキャリア相談などのサービス、利用者同士の交流会も行っています。



A. 雨の日でも無料で遊べる施設やこどもの居場所を充実

リニューアルオープンした「こべっこランド」をはじめ、ボルダリングやアスレチックなど大型遊具で元気いっぱい体を動かして遊ぶことのできる「こべっこあそびひろば(市内3か所)」を整備しています。また全ての区に、0～2歳のお子さんがある保護者が気軽に立ち寄って交流ができる「おやこふらっとひろば」があり、さらに身近な場所にある児童館は市内120か所と全国で2番目の多さです。安心して子どもたちが遊べるだけでなく、子育て相談や親同士のつながりができる場づくりをしています。

主に小・中学生の子どもたちが、身近な場所で友達や地域の人とご飯を食べたり、勉強の見守りをしてもらったり、安心して過ごすことが出来る「こどもの居場所」を市内301か所(2023年12月末時点)で実施しています。

INTERVIEW

職員インタビュー

全てのこどもたちが、
いきいきと輝く未来を支える。



こども家庭局
こども未来課

平成24年度入庁(高校卒・総合事務)
(※令和6年度時点)

「全てのこどもたちの未来を応援」するための施策の立案・推進を目的に2021年度に設立されたこども家庭局こども未来課で係長をしています。現在は、学習機会が十分に得られていない中学生を対象とした学習支援事業と、神戸の子育て情報をわかりやすく発信するための広報業務に注力。今後は中高生への施策も充実させ、こどもの成長に応じた切れ目のない支援をさらに強化したいと考えています。

SCHEDULE



地域のこどもに差し伸べられる支援の手を結ぶ。

学習支援事業では、学習支援を実施する地域団体に対し金銭面と運営面のサポートを行っています。学習指導など実際の運営は、数多くのボランティア講師や地元企業の協力に支えられており「こどもたちを応援したい」という方が多くいらっしゃる神戸の魅力を再認識しました。地域の大人たちが率先してこどもたちとコミュニケーションをとり、励ましたり元気づけたりしながら絆を深めていく姿に感銘を受けることも。地域力のすごさや人々の熱意に、いつもエネルギーをもらっています。



神戸が「子育てしやすい街」であり続けるために。

2023年からは「こどもっとKOBÉ」という統一的なブランディングのもと、SNSやホームページを通して神戸の子育て情報を発信しています。当課の職員は大半が子育て世代。当事者としての経験を業務に活かせるよう心がけています。神戸市では妊娠・出産から学齢期までこどもの成長に応じた切れ目のない支援の充実に取り組み「共働き子育てしやすい街ランキング2024」で全国1位を獲得しました。私自身もフレックスタイムや在宅勤務制度を活用して仕事と育児を両立し、キャリアアップを目指したいと思っています。



INTERVIEW

職員インタビュー

前例がなければ、 逆に自由な発想ができる？



港湾局振興課

平成30年度入庁(大学卒・総合事務)
(※令和5年度時点)

Q. 採用から6年目ですが、 市役所でどんな仕事をしましたか？

最初の仕事は、建設局という部局の予算や議会の対応をとりまとめる経理の仕事です。とにかく覚えることが多くて、基本的なことを勉強するだけでも時間がかかりました。ただ市役所で働いている以上、どこに行っても必要になる知識を一番最初に学べたのは幸せだと感じています。3年前に異動があり今は港湾局で働いています。私の主戦場はこのメリケンパーク。BE KOBEMOニュメントが有名で、スターバックスもいつも賑わっていますが、この場所をもっと笑顔でいっぱいにするのが私の仕事です。それともう一つ、ちよどこから眺めることになる海上花火イベントも担当しています。コロナ前は例年、8月上旬に大規模な花火大会が開かれていましたが、昨年から猛暑を避けた10月に開かれる5日間連続の花火イベントに姿を変えました。

Q. 仕事でやりがいを感じることはありますか？

2022年から開催している花火イベントは、10分間の本格的な花火を、ポップスやジャズなどいろいろな音楽と競演させるもので、毎日1.5万人ほどの来場者があります。はっきり言って、準備は大変でした。コロナ前の例年の花火イベントの資料は残っているのですが、音楽と花火をどうやって合わせるのか、5日間のプログラムをどうするのかは、花火師さんを含む関係者らと相談しながら、進めなければなりません。でも、最後は「前例がなければ、逆に自由にできる」と割り切りました。イベント当日、このメリケンパークに私はいました。最後の花火が打ち上がったあとに、観客たち全員が拍手をするのです。感動した気持ちを表しただけなのですが、私には自分への感謝の拍手のように感じられ、目頭が熱くなりました。

Q. 海、山、街の全てが仕事になるというのはどう思いますか？

あ、それならつい最近、体験しましたよ。メリケンパークの平日の夜がさみしいという声があったので、それなら「焚火(たきび)」をしましよと、私は職場で提案したのです。実はメリケンパークは火気厳禁。ですが、焚火をしたいという人たちがいたのです。なので、安全性を確保できるのか実証する実験的なイベントを一度やってみようと思ひ付きました。ところが、焚火をするのに「薪(まき)」がいります。すると、環境局の職員から北区の里山に切り倒した大木があるので、薪割を手伝ってくれたら持って帰っていいよと連絡がありました。これはチャンスと私自身が薪割の機械を操作して、たくさんの薪を手に入れました。本番に向けて今から楽しみにしています。山で手に入れた材料で、海と街に囲まれたメリケンパークでイベントをする。キャッチコピーどおりですね。

Q. 民間企業を就職先に考えている学生にもし声を掛けるなら？

公務員は「お堅い仕事」をするイメージがあります。何かルールがあってその通りに立ち振る舞いをしないといけないような。ですが、私のような若い職員が提案したことが、スッと承認されて、実現することもよくあります。神戸市は大企業よりずっと柔軟ではないでしょうか。もちろん上司に恵まれているとは思いますが。あと、神戸市は異動により、退職するまでに様々な業務を幅広く経験すると、大学生のときから聞いていました。実際に働いてみると、そのとおりです。でも、様々なことに興味をもって、すぐに没頭する私の性分にはぴったりでした。これまでは、局の予算・決算・会計検査総括、花火イベントなどウォーターフロントの賑わいづくりなどの業務を経験してきました。今後は、国際的な大規模イベントの誘致・開催などの業務にも携わってみたいと思っています。様々な業務を経験でき、新鮮な気持ちで働き続けることができる環境は神戸市ならではの強みではないでしょうか。

キャリア紹介

■ 平成30年度

建設局総務課

建設局の予算・決算・会計検査総括

■ 令和3年度

港湾局振興課

花火イベントなどウォーターフロントの賑わいづくり

■ 今後のキャリアプラン

国際的な大規模イベントの誘致・開催をしてみたい

彼が指名したインタビュー場所は、メリケンパークにあるスターバックスの前。そこが職場だと言うのです。市役所の職員たちは、彼のことを「花火担当」と呼んでいます。



福祉局高齢福祉課

平成29年度入庁(大学卒・総合事務)
(※令和6年度時点)

政令市だから 得られる経験とは？

キャリア紹介

■ 平成29年度

中央区生活支援課

生活保護のケースワーカー

■ 令和2年度

福祉局高齢福祉課

認知症神戸モデルをはじめとした認知症施策の運営

■ 今後のキャリアプラン

福祉以外の分野にもチャレンジし、幅広い業務を経験したい

プライベートでは、パンやお菓子づくりを楽しんでいて、次はガレット・デ・ロワに挑戦したいと話す彼女。どんな仕事をしているのかを聞いてみました。



Q. これまでどんな仕事をしましたか？ これからやりたい仕事は？

最初の配属は区役所での「ケースワーカー」でした。生活保護受給者の困りごとの相談に乗るような仕事です。病気や障害を抱えている方、一人暮らしの高齢者などのご自宅に足を運び、毎日顔を合わせました。今は、同じ福祉分野ですが、「認知症神戸モデル」と呼ばれる制度の運用を担当しています。この制度は、認知症の疑いのある方に早めに受診いただき、早めの対応につなげるとともに、万が一認知症の方が事故を起こしたときに被害者などを救済する制度で、神戸市が2019年からスタートさせました。今の仕事も前向きに取り組んでいますが、公務員は様々な業務に携われることが魅力の1つなので、次は空き家対策や三宮再整備、あるいは市の広報のようなガラッと雰囲気が変わる仕事にも挑戦してみたいと考えています。

Q. 今の仕事ではやりがいを感じますか？

実は、仕事をする中で認知症の方やその家族と直接お会いする機会は、ありません。ですが最近、認知症支援の仕組みを説明するガイドブックをリニューアルしました。そのときに、認知症の方や家族を支援している方にどうすれば分かりやすいのかを聞いて、市役所内の専門部署にデザインや文章を相談しながら、できるだけ読みやすいものにしたいと製作しました。すると、これを配布している区役所や地域の拠点から、棚に置いているとすぐになくなってしまいますので100部単位で送ってほしいと連絡がありました。あるいはウェブサイトのPDF版を見た方が電話をしてきて、分かりやすかったので、家に一部置いておきたいと要望があったのです。苦労しただけに、とてもうれしかったですね。

Q. 神戸市役所で仕事をしようと思ったのはいつからですか？

姫路に住んでいたので神戸は憧れの場所でした。高校のときも新快速でよく遊びに行っていましたね。大学が神戸だったので、市内で一人暮らしを始めると、さらにたくさんの魅力を見つけました。姫路市役所への就職も考えたことはあるのですが、中核市と政令市を比べると、政令市のほうが仕事の幅が大きいと思いました。例えば、私が担当する「認知症神戸モデル」は、この制度を運用していくためにかなりの予算が必要になります。そこで神戸市は個人市民税に400円を上乗せすることで、神戸に住んでいる人たちに広く負担をしてもらいながら運用している大がかりな制度なのです。なので、全国の自治体からとても注目されており、他都市からの問い合わせがあとを絶ちません。神戸市役所で働いているからこそ、こんなふうに全国的にも一歩先行く業務に携われているのだと感じています。

Q. 民間企業でなく市役所を選んだ理由を教えてください。

大学生のときから、将来、結婚や出産、子育てといったライフイベントがあったとしても、神戸で働き続けたいと考えていました。ですが、民間の大企業であれば、転動がないのはエリア職になり、仕事の範囲が限定されがちです。神戸市役所であれば、ずっと神戸で働き続けられると考えていました。さらに文系だったので、専門分野や得意なことが何か、自分で限定できませんでした。そう考えると、幅広く様々な仕事を任せてもらえる地方公務員という仕事が、私にとっては魅力的に感じたのです。もちろん、これまで経験したことのない業務を一から覚えるのは大変です。しかし、ケースワーカーの仕事も認知症神戸モデルの仕事も、今となっては大きな経験になっています。



WORKS

お仕事紹介

詳しい情報は
WEBサイトへ



仕事を始める前と後、 印象は変わった？

キャリア紹介

■ 令和2年度 都市局景観政策課

中央区のまちづくりを担当。
三宮再整備に関わることも。

■ 今後のキャリアプラン
営繕や建築行政などの異なる分野も経験したい。
将来的には、大学時代に研究していた
まちづくり分野に再度挑戦したい。

岡山出身だが、建築やデザインを志して選んだのは神戸の大学だった。やがて、気づかないうちに神戸の街のとりこになった、という彼女に聞いてみた。

都市局景観政策課

令和2年度入庁(大学卒・建築)
(※令和5年度時点)

Q. 市役所の仕事は、 学生時代のイメージと違っていましたか？

大学院の修士課程で建築やデザインを専攻しました。建物のデザインを工夫すれば、エリア全体の魅力を高められるということを学んだので、そんな仕事をしたいと思っていたと、「景観政策課」に配属されました。名前だけを見ると希望どおりの職場でした。ところが、仕事の中身は学生時代にイメージしていたものとはだいぶ違っていました。ずっと複雑で、奥が深いモノだったのです。私の担当は、これからバスターミナルやJRの駅ビルができていく三宮というホットなエリア。民間企業のビルの建設計画をつくるときにデザイン面からの助言をするのですが、例えば、三宮と旧居留地では、距離は近いのに街の特色がかなり違うので、異なった助言になるのです。あと、私たちの一存ではなく、大学教員や実務経験のある専門家の話を聴きながら進めます。建物の形を少し変えるだけでも、関係者が大勢いて、かなり奥が深い仕事だと感じています。

Q. 仕事はおもしろいですか？ やりがいは感じるのでしょうか。

法律や条例に基づいた法的強制力のある規制を行う業務もあるのですが、私が今やっている仕事は、それとは違います。あくまで民間事業者の動きを誘導するものです。実は、地域によっては、住んでいる人やお店をやっている人たちが自身で、屋外の広告や夜間の照明のルール・建物のルールをつくっています。街への熱い思いの表れですね。でも、法律のような明確なルールというわけではありません。例えば、「風格がある」とか、「この街の個性に合わせた」という決まりなので、人によってOKなものがNGになったりします。そんな話を聞きながら調整をします。「調整」というと、きれいに聞こえますが、実際に丁々発止のやり取りでお互いの妥協点を探りだすものです。そんなときこそ仕事をしているという実感がありますね。これがもしかすると「やりがい」なのかもしれません。

Q. 海、山、街がある神戸を舞台に働くという意味は？

高校まで岡山で、大学が神戸でした。そのときに神戸の海、山、街の魅力のとりこになってしまいました。東京や大阪に比べるとこじんまりしています。もし空から神戸を見ることができるのなら、元町・ハーバーランド、山本通、岡本、板宿といった、小さな個性ある街が隣り合っている。それを海と山が囲んでいる。そんなふうに見えるのではないのでしょうか。この街を暮らしやすく、楽しめるように、海と山といった自然の景色を守るのが私の仕事です。とても満足しています。ただ、建築の勉強をしたので、どこかのタイミングで法律による規制をする部署に配属されると思います。そういう仕事にも挑戦して、多角的に街を眺められるようにしたいです。

Q. 民間企業でなく自治体で働く魅力を教えてください。

建築が好きだったので、就職先は民間企業も良いと考えていました。本当に最後の最後まで悩んでいましたね。住宅メーカーからも内定をもらっていたので。でも行政を選んだのは、いろんなことに携われるのではと考えたからです。民間だと単体の建物をつくって終わりです。ところが、行政であれば街全体を見る、もっと視座の高いところから仕事ができます。特に担当している中央区では三宮再整備など高層建築の計画が複数あります。各建物のランドマーク性も一定重要ですが、街全体を見た際の連続性や調和も考慮して、地域特性に合わせた神戸らしい景観形成を目指して誘導を行っています。実際入庁してみて、私の選択は間違っていなかったと思っています。

総合事務

皆さんに身近な区役所の仕事や観光、産業振興、まちづくり、福祉関係のほか、市全般に係る施策の企画・調整など、業務内容が大きく異なる様々な部署を異動し経験を積むことで、様々な局面に対応できる幅広い知識・技術を習得できる点が特徴です。



文化スポーツ局スポーツ企画課 平成29年度入庁(大学卒)

神戸マラソンの大会準備を1年かけて行っています。担当しているのは医事救護。救護所に配置する医師や看護師を手配したり、医療従事者の意見をもとに医事救護計画を作成したりするなど、安全で安心な完走を支えています。国内外から大勢のランナーが参加する神戸マラソンにチーム丸となって挑わり、まちのにぎわいを創出できるのが醍醐味。みんなでアイデアを出し合い実行する楽しさも味わえます。



福祉

各福祉施策の企画立案、各区保健福祉部における生活保護の決定・実施、児童・高齢者・障害者・生活困窮者等の福祉に関する相談援助業務、こども家庭センター・療育センター・障害者福祉センター等における各種相談業務を行います。



児童福祉司・児童心理司・医師と連携して子どもの健全な育成を支える



市民に寄り添いながら自立に向けた支援を実施



土木

道路や港湾などの「社会基盤整備」や、駅前再整備をはじめとした「まちづくり」といった、神戸市民の生活を支え、神戸の成長を加速させる事業に携わります。具体的には、様々な事業において、発注者として企画・計画段階から、設計・発注、現場での監督・維持管理業務にいたるまで、とても幅広い分野の仕事を経験することができます。また、市民や数多くの関係者の方々と対話しながら、自らの意見を施策や整備に反映できることも大きな魅力です。



駅前空間の高質化
神戸駅前広場(再整備イメージ)



神戸らしさを感じていただける
新ターミナルの整備(外観イメージ)



建設局東部建設事務所

令和3年度入庁(大学卒)

まちなかに立つ電柱や電線を無くし、道路の地下空間に電線類を収容する無電柱化工事の監督業務をしています。神戸の美しいまち並みが好きで、その維持管理に関わることを希望し、神戸市に入庁しました。計画段階からまちづくりに参画できるのは市の土木職だからこそ。神戸のまちに対する自身の具体的なビジョンを実現できる可能性があるもの、この仕事のおもしろさだと思います。近年は女性の活躍も目覚ましく、女性が働きやすい職場環境へと改善が進んでいます。



建築

市民のすまい・まちづくりに総合的に関わることが主な仕事です。具体的には①市有建築物や市営住宅の企画、設計・工事監理及び維持保全②建築基準法をはじめとする法令による建築物の規制・誘導や耐震化・バリアフリー化の促進③市民・事業者との協働によるまちづくりの推進や神戸の都市ブランドの向上と人口誘引につなげるプロジェクト「リノベーション・神戸」などの取組④空家空地の有効活用などすまいやまちづくりに関する政策立案、相談・情報提供などに取り組んでいます。



神戸らしい魅力あふれる景観をまもり、
そだて、つくる(旧居留地)



将来の神戸市をかたちづくる
機上公園体育館(三宮周辺再整備)



都市局駅まち推進課

令和元年度入庁(大学卒)

垂水区にある多間団地の再生と神戸ハーバーランドのまちづくりに取り組んでいます。地域住民の高齢化や施設の老朽化により再生が必要な多間団地のセンターゾーン周辺事業や、代表的な観光スポットである神戸ハーバーランドの神戸煉瓦倉庫の維持管理は、神戸のまちのイメージアップに直結する仕事。大きな意義を感じています。

農業

神戸ビーフをはじめ、ホウレンソウ、キャベツなどの野菜、米、新鉄砲ウリ、イカナゴなどの農水産物の生産振興を図るとともに、食を軸とした新たな都市戦略「食都神戸」の推進や、豊かな自然環境の保全と農村環境の整備などを進め、農村地域へ新たな人を呼び込み、移住・定住につなげる「神戸・里山暮らし」などが主な仕事です。



農漁業者と消費者の交流の場となる
ファーマーズマーケット



農村地域の活性化と、
農業の担い手を育成する支援を実施



経済観光局西農業振興センター

令和4年度入庁(大学卒)

農業者が経営の安定を図れるように5年後の計画づくりと一緒に行うことが私の仕事です。肥料や燃料などの価格高騰が原因の場合、行政ができることは限られています。利用できる融資や補助金などを提案し、農業者に寄り添って神戸の農業を支えていきたいと思っています。

造園/森林

都市公園や街路樹、街かどの緑化・飾花などに関する計画、設計、工事監督、管理や支援が主な仕事です。市民や事業者の参画を得ながら、緑やオープンスペースの持つ機能を最大限活かしたまちづくりを進めています。六甲山をはじめとした神戸の森林については、長期的な視点で森林・里山の再生や利活用に取り組んでいます。



神戸の都心・三宮の中心に位置する
「東造園地」のリノベーション



六甲山を美しく健全な状態で次世代に
引き継ぐ「こうべ森林整備戦略」



総合設備(電気)

主に上下水道・ごみ焼却等のプラント施設、地下鉄・市バス等のインフラ施設、庁舎・小中学校等の公共建築物など施設設備の計画、設計、工事監理、保守保全、運営等の業務に従事し、行政職員としての総合的な調整力や技術力を活用しながら安全・安心で快適な市民の暮らしを支えています。電気の主な内容は、受変電・発電機・照明・防災・情報・太陽光発電などがあります。



市民の快適な暮らしを支え、
快適な社会をつくるインフラ整備



地域や市民に親まれ、快適で
利用しやすい公共建築物の整備



交通局電気システム課変電区

平成29年度入庁(高専卒)

神戸市営地下鉄の電車や駅に電気を送る電力設備の点検・補修や、電力状況の監視・制御を行う電気システム課変電区に所属し、点検で交換が必要になった機器の手配、設備故障時の復旧対応、職員の安全を司る作業手順書の確認などを担当しています。作業現場に同行して先輩職員に習い、電力設備の専門知識や技術を身につけることもでき、幅広い経験を積めるのが魅力です。

総合科学(化学)

上下水道やごみ処理といった社会インフラ事業の運転・品質管理業務や、大気や水質の監視・規制業務など、市民の安全・安心と環境保全を支える重要な役割を担います。併せて、持続可能な都市づくりに直結する使命として、地球温暖化防止や資源循環など環境貢献事業にも取り組んでいます。さらに、大学や民間企業と連携し、新技術の開発も行っています。



水源の水質もきめ細かく
検査しています



工場・事業場の排水の水質規制の
ため立ち入り検査を行います



環境局環境保全課

令和6年度入庁(大学卒)

私の主な仕事は、河川や湖、さらに海の水質調査です。月に一回、海は23か所、河川は35カ所、湖は千川貯水池と御原(つくはら)湖の2カ所で、有機フッ素化合物(PFAS)や鉛や水銀といった重金属など有害物質が含まれていないかを調べます。ときには有害物質の原因を特定するために、奥深い山の道なき道を歩いて、川をさかのぼることもあり、緊張感のある仕事ですが、市民の安全を守るために貢献していると思うとやりがいを感じます。

総合設備(機械)

主に上下水道・ごみ焼却等のプラント施設、地下鉄・市バス等のインフラ施設、庁舎・小中学校等の公共建築物など施設設備の計画、設計、工事監理、保守保全、運営等の業務に従事し、行政職員としての総合的な調整力や技術力を活用しながら安全・安心で快適な市民の暮らしを支えています。機械の主な内容は、各種プラントをはじめ、空調・給排水・自動制御などがあります。



下水事業等を通じ、エコ時代への
新たな取り組みに挑戦



ごみの焼却で発電した再生可能
エネルギーを市場に供給するクリーンセンター



環境局施設課

令和2年度入庁(大学卒)

神戸市内にあるクリーンセンターや埋立処分地の保全管理、設備改修時の工事設計などに従事しています。24時間365日休みなく稼働するクリーンセンターは焼却炉をはじめ各種設備の劣化が早く、建設から20～30年ほど経っている施設もあるため、安全で効率的な運転を行うには、こまめなメンテナンスが欠かせません。連携する他部署と情報共有や意見交換を緊密に行い、スムーズな計画の推進を心がけています。

総合科学(生物・環境)

生物多様性の保全や地球温暖化の防止をはじめ、次世代エネルギーの推進、大気汚染・騒音等の公害対策、ごみの減量や資源化といった廃棄物行政など、環境問題の解決に向けて幅広く取り組んでいます。医療産業に携わる職員もあり、業務は多岐にわたります。



騒音や振動の未然防止や
大気汚染物質の排出規制の推進



環境負荷が少ない多様なエネルギーの
利活用を普及推進



環境局脱炭素推進課

平成30年度入庁(大学卒)

電気自動車(EV)を普及させる啓発事業に取り組んでいます。電気自動車などが利用できる公共用の充電設備が神戸市内で約500か所あるのですが、さらに民間事業者が同様の充電設備を増やしていける環境づくりを進めています。自分の仕事が「地球温暖化」に寄与していると思うとやりがいを感じます。

総合科学（獣医・畜産・水産） 生命科学・薬学

飲食店や食品工場、旅館、公衆浴場、ペットショップなどの調査・指導、食品や水質の検査、医療産業に関する業務、環境保全に関する調査・企画、食肉衛生検査、動物園での飼育管理・調査研究、農水畜産行政など、多様な職域のなかで、それぞれが持つ専門性や能力、適性を活かし幅広い業務に従事します。



食の安全・安心の確保に向けた、監視指導・検査の実施



人と動物が共生できる社会づくりのための啓発活動



健康局食品衛生検査所 令和7年度入庁（大学卒）

野菜や魚など生鮮食品を扱う流通拠点の卸売市場で、食品に使用されている農薬や食品添加物等が基準値を超えて含まれていないかをチェックするのが私の仕事です。1回の検査で結果が出るまで数日かかりますが、市民の皆様が、安心して神戸のおいしい食を楽しむよう貢献できていると実感できる仕事です。

消防

消火活動や救急、救助活動はもちろんのこと、台風や地震などの大規模災害に備えて、普段から防災福祉コミュニティと連携した地域防災力の向上に取り組んでいます。また、事業所の自主防火防災体制の強化など、「予防」の取り組みを推進し、「神戸市民の命」と「神戸のまち」を守ります。



安定した消火活動のための訓練



特別高度救助隊が有する重機



保健師

神戸市は政令指定都市のため、保健所と市町村保健センターの両方の機能を持っています。保健師は、母子保健、成人保健、精神保健、感染症等の幅広い分野の業務を担っており、全ての市民の健康と命を守ることを使命として保健活動を行っています。



乳幼児の健康保持増進や保護者の育児支援を推進する健康診査事業



地域福祉センターや集会所等において健康教育を実施



兵庫区保健福祉課 令和6年度入庁（大学卒）

母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査の実施、各種教室や電話・訪問での相談対応、保健指導を行っています。市民の悩みを真摯に受け止め、一緒に考えながら支援しています。「孤立を防ぐ」「健康を守る」パートナーとして、人々の暮らしに寄り添っていきたいです。

保育士

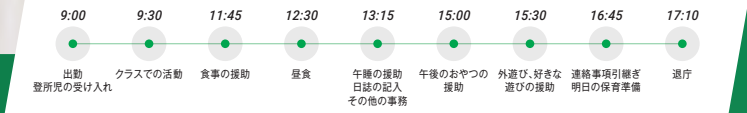
神戸市で働く保育士は、保育所での乳幼児の保育、児童発達支援センターでの障害児への療育支援、児童相談所での保育及び支援などを行っており、神戸のこどもの明るい未来を支えています。



保育を必要とする乳幼児の健全な心身の発達を支える保育所保育士



こどもの障害や発達の特徴に応じた支援を行う療育センター



須磨保育所 令和2年度入庁（大学卒）

現在は5歳児の担任として、就学を控えるこどもたちの日々の遊びの内容を考え、遊びの援助をしています。こどもたち自身のアイデアで、遊びの幅が広がることもあるので本当に面白いです。また、保育所での行事の準備も私たち保育士の仕事です。こどもたちの成長がどうすれば保護者に伝わるかを考えて遊びの内容を決めていきます。こどもたちが保育所でより良く過ごし、成長していけるよう、職員同士日々連携し合って保育をしています。

総合事務（デザイン・クリエイティブ枠）

デザイン・美術・音楽・映像などの素養があり、それぞれの分野で培った思考などを活かして、神戸市政で活躍できる方を対象とした採用試験です。ただし、デザイナーなどの専門職ではなく、幅広い行政事務全般に関わる「総合事務」での採用となります。ご自身の専門分野の知識・経験が豊富な人に限らず、不得意分野を含め様々な分野に関心がある、好奇心旺盛な方のお申込をお待ちしています。



環境局環境企画課 令和2年度入庁（大学卒）

今後10年間の環境施策の方向性を書いた「環境マスタープラン」という計画を改定する仕事をしています。大学の教員など有識者が委員を務める審議会を運営し、各事業や他の計画を担当する関係部署や幹部職員と調整しながら、市民に手にとってもらえるような「見せ方」を考えて、計画の構成や文案を作ります。大学時代に学んだ「プロダクトデザイン」の思考が日々活かしていると実感します。

採用後の配属

最初の配属先は、政策・企画、経済政策、広報、芸術文化、観光振興、まちづくり関連など、ご自身の素養を活かしやすい部署を想定しています。その後の異動は、本人の適性や希望を考慮して、幅広く行政事務全般に従事いただく予定です。

先輩職員の配属先の例

企画調整局広報戦略部 神戸市の広報活動の企画／報道機関との連絡	経済観光局観光企画課 観光・MICEの振興に係る総合的な企画調整
港湾局振興課 神戸港の賑わいづくりに係る企画調整	各区役所地域協働課 地域組織・NPO支援／まちづくり／地域課題の把握・解決

2026年度より新設

総合事務（データ/デジタル）

生成AIを含むICT技術が急速に進展する中で、業務の効率化や市民サービス改革等を推進するために、市が保有するデータやデジタル技術を活用し、解決策を自らデザインしたり、DXの取り組みをリードする役割を担います。具体的には、自ら課題を発見しデータに基づく解決を主導するほか、情報システムの管理運営やデジタル技術の活用による業務改善の推進等を行います。

農業土木

みどりの「再生」と「創出」を一体的に進める「森の未来都市 神戸」を推進するうえで、重要なテーマとなる「里地里山の再生」に携わります。具体的には、ため池等の地域資源を有効活用した地域のブランド化、農業基盤施設や森林等の整備に関する調査、計画、設計・施工業務等を行います。

WORKSTYLE

ワークスタイル

神戸市の働き方改革の推進

働きやすい市役所が暮らしやすいまちをつくる

神戸市役所では、徹底した市民目線で手続きの簡素化やAIの導入をはじめとしたDXの推進等による業務の削減・効率化によって生み出された時間やマンパワーを、より付加価値の高い業務に充てることにより市民サービスの質の向上に繋げていきます。



フレックスタイム制

柔軟な勤務形態の選択を可能にするフレックスタイム制を導入。フレックスタイム制の利用により、始業時間を午前7～10時、終業時間を午後3時～午後10時までの中から自由に選択することができます。



育児休業取得の推奨

育児休業に関する職員の不安や疑問、取得の意向などを上司が聞き取り、アドバイスを行うことで、性別にかかわらず誰もが気軽に育児休業を取得できる職場環境づくりに取り組んでいます。



庁内副業制度

職員のスキル、キャリア、専門性を幅広く活用し、組織力を最大化することを目的として、他所属の業務の一部を担う仕組みです。



地域貢献応援制度

職員が、自身の知識・ノウハウ等を活かして地域の課題解決に向け取り組むことなどを目的に、社会性・公益性の高い地域貢献活動に、報酬を得て従事する場合の取扱いを独自に定めました。

PERSONNEL DEVELOPMENT and TRAINING

人材育成

多様な研修制度

研修制度においては、OJT・Off-JT・自己啓発の3つの取り組みを効果的に進めることで、職員の能力向上・能力開発・仕事に対する意欲の醸成を図っています。新規採用職員については、研修期間を十分に確保し、職員としての基礎的なスキルの向上や職務内容に応じた研修・OJTによる早期育成に取り組んでいます。また、職員の知識や能力を向上させるため、時間や場所を選ばない学習管理システムを利用したeラーニングを導入しています。

		階層別研修(基礎研修)	テーマ別研修	派遣研修		自己啓発支援
主な研修制度	一般職員	新規採用職員研修(第1・2・3部)	英語討議 SDGs ポータブルスキル動画研修(PC基礎等) ワークショップバランス研修(思考・伝達等)	国内外の大学院への派遣 民間企業等への派遣	外部機関主催の研修等への参加支援	資格取得・各種講座受講支援
		採用2～6年次職員研修				
		3級昇格時研修				
		4級昇格時研修				
		係長昇任時研修				
	管理職	課長昇任時研修				
		部長昇任時研修				

OJTとメンター制度

直属上司がOJT指導者となり、実務経験を通して人材育成を行います。また、職場の先輩職員が「新採サポーター」となり、仕事の上での様々なサポートを行うほか、職場外の先輩職員である「メンター」が仕事やキャリアなど、特定の業務に限らない相談への助言や支援を行います。

PERSONNEL MANAGEMENT SYSTEM

人事制度

人事異動

基本的にはいくつかの特定分野で深い知識と経験を得られるような配属を行うことで、一定の分野に強みを有する行政のプロフェッショナルを養成します。一方で、一定の専門領域においては、長期間在籍するスペシャリストの養成を進めます。また、若手職員については、早期に本庁及び出先機関・区役所の両方を経験することで基本的な業務知識や現場対応力を習得することを目指します。さらに、職員の能力開発、意欲向上を図るため、意向調査フォローアップ面談、庁内インターンシップ制度、庁内フリーエージェント制度、庁内公募制度、専任職制度などを設けています。

庁内公募制度

職員が持つ種々の能力を適材適所で活用・育成することを目的に、対象業務と職員を募集し、配属を決定する人材育成制度です。職員の意欲と能力を職務に反映させることにより、市政への参加意欲の高揚を図ります。



庁内公募制度利用時：子ども家庭局家庭支援課
応募先：経済観光局農水産課

平成30年度入庁(大学卒・総合事務)

「神戸の魅力を伝える業務に携わりたい」と応募を決意。

大学時代から関心の高かった分野が、地域の魅力を活かしたまちづくりと食。その両方に関連した政策に従事する庁内公募があると知り、すぐに応募を決意しました。経済観光局農水産課に異動後は、ファーマーズマーケットや漁師イベントの企画運営に携わり、神戸の豊かな大地と海が育む農水産物の認知度向上に取り組んでいます。農漁業の魅力を伝えるというポジティブな業務にやりがいを感じています。



QUALITIES of IDEAL PERSONNEL

求める人物像



チャレンジ精神
社会を変えようという意欲を持ち、困難な仕事にも怯まず、最後までやり切る人

リーダーシップ
自ら考え、周囲に働きかけながら、積極的に仕事を前に進めることができる人

デザイン力
豊かな発想や工夫により、仕事をデザイン(創造)できる人